

平成27年度 山科区運営の総括表

基本方針・重点方針	平成27年度重点取組				
	取組名	目標	実績	備考(課題・総括等)	所属等
1 環境を守り継ぐ	1 山科区2万人まち美化作戦の実施	参加者:2万人	・参加数:16,296名 ・回収ごみ量:19.87t	多くの区民の皆様に参加していただくことができたが、雨天に見舞われたこともあり、目標の2万人に到達しなかった。引き続き自治連合会をはじめとする地域団体と連携し、参加者の拡大に努める。	地域力推進室
	2 山科区エコアクションNo.1宣言事業の実施	次世代への環境啓発を促進するため、子ども達が遊びながら学べる啓発イベントを開催する。	平成27年9月12日、環境イベント「エコを学び、エコで遊び」として実施した。	児童館に御協力いただくなど、多くの子ども達が参加して、エコの取組を啓発することができた。平成28年度は、単独のイベントとしては実施せず、区民まつり内のイベントとして実施する。	地域力推進室
	3 「エコ学区」事業	年間を通じて実施される既存の地域イベントに、エコ活動支援物品を活用するなど、新たにエコの要素を盛り込んで実施できるよう支援する。	地域のイベント(夏祭り等)やエコアクション環境イベントにてエコ活動支援物品を積極的に活用した。	エコ学区支援物品を活用して、学区でのエコイベントの取組を支援することができた。	地域力推進室 (環境政策局)
	4 山科区フラワーロード推進事業の実施	花苗植数:6,000株	・花苗植数:5,266株 (うち1,252株を仙台市若林区荒浜地区の仮設住宅へ贈呈)	例年どおり、区役所前、東部文化会館前花壇、JR山科駅前に花を植栽した。なお、仙台市の仮設住宅への贈呈は、仮設住宅からの移転が完了したことにより平成27年度で終了する。	地域力推進室
	5 山科区民花の回廊募金の実施	東山自然緑地の公園にヤマザクラを植樹する。	東山自然緑地の公園にヤマザクラ(2本)を植樹した。	平成27年度から、東山自然緑地の大規模整備工事が開始されることに伴い、平成28年度以降の植樹場所については検討を行う。	地域力推進室
2 まちの魅力・観光を磨く	1 山科・感動ツーリズム推進事業	山科の観光資源・地域資源をPRするため、効果的な広報を実施	10月から12月までの区内でイベントが集中する期間を「観光ウィーク」として設定し、同期間の山科のイベントや観光のみどころをまとめた冊子(山科散歩 秋)などを発行した。 <冊子・ポスター発行部数> ・冊子(山科散歩 秋) 8,000部 ・冊子(山科散歩 秋 疏水編) 3,000部 ・B1・B3ポスター 1,200枚	京都観光調査における訪問地で、山科周辺を訪れた人の割合は、京都市に訪れた観光客数が120万人増加したこともあり、平成26年度の3.4%から、平成27年度は2.7%に低下した。平成28年度は、観光情報をまとめた冊子を発行するとともに、旅行商品企画担当者向け視察(ファミトリップ)を実施するなど観光客の誘致を図る。	地域力推進室
	2 ふれあい“やましな”区民ふれあい文化祭の実施	文化祭の実施による区民の相互交流の促進	・「区民ギャラリー」 入場者数延べ数:約600名、出展作品:195点 ・「区民芸能フェア」 入場者数延べ数:約3,500名、出演者:515名	実施により区民の相互交流が図られた。	地域力推進室
	3 ふれあい“やましな”区民史跡(山科の魅力探訪)の探訪の実施	魅力が感じられるコースを設定することにより、リポーターとともに新規参加者を増やし、「語り部」を増やす。	・参加数:34名	「区民史跡の探訪」の名称としての実施は平成27年度で8年目を迎える。平成28年度も実施の予定だが、参加者数が伸び悩んでいることなどから、将来的な「探訪」のあり方を検討していく。	地域力推進室
	4 「大好き!やましな魅力発信プラットフォーム」の運営	新規参加者及び情報の発信件数を増やす。	・参加者102名(対前年度+7名) ・発信件数454件(対前年度+90名) (平成28年3月末現在)	参加者数と発信件数の拡大のため、共同運営を行っている京都橋大学と連携し、魅力のある情報発信に努めていく。	地域力推進室
3 交通・都市基盤を強化する	1 小金塚地域の安心・安全なまちづくりの推進	小金塚自治連合会及び関係機関と連携し、早期に公共交通が導入できるよう、バス路線想定ルートの道路移管を重点的に進める。	移管を支援し、早期の公共交通導入に向けた取組を推進	平成28年5月里道指定完了。バス運行の実現に向けて、地元や、バス事業者等の関係機関と連携し取組を進める。	地域力推進室
	2 山科区の交通問題の改善に向けた取組	小金塚地域の公共交通導入や、山科区における公共交通の環境改善などの取組を推進する。	平成25年3月から京阪バスにより実証運行されてきた「鏡山循環系統バス」が鏡山自治連合会による「地域と連携したMM事業」の取り組みの結果、平成27年3月から本格運行に移行された。	目標としている1便約20人は堅調に推移している。今後は、地元から強い要望がある1便の増便に向け、関係機関と協議を進めていく。	地域力推進室 (都市計画局) (交通局)
	3 山科区地下鉄駅周辺おでかけマップの作成	毎年行われるバス・鉄道のダイヤ等の改訂に対応したマップを作成し、各駅等にマップの配架をしていきます。	・発行部数:3,000部	区民の皆様や観光客に地下鉄駅周辺の見どころをPRする役割は一定果たせたこともあり、平成28年度は、発行の是非も含めて検討する。	地域力推進室
4 保健・福祉・子育て支援を充実させる	1 やましなお誕生おめでとう事業の実施	今年度は4学区で実施する。	平成27年9月、山階、勤修、安朱及び百々の4学区で事業開始 ・訪問件数:48件	主任児童委員等が訪問することにより、子育てサロンの参加等、地域の支援事業に繋がる等の具体的な効果が表れている。平成28年度は、5学区を追加して9学区で実施する。	支援課
	2 やましな子育て情報発信事業の実施	情報誌を作成し、様々な機会をとらえ、孤立しがちな未就園児を持つ家庭を中心に配布する。	「やましなお誕生おめでとう事業」の訪問時や11歳半健診時などに配布する「やましなっこおめでとうガイド」を作成し、平成27年9月から配布開始	より多くの子育て家庭に配布する機会や方法の検討を行う。	支援課
	3 やましなっこひろばの実施	年2回、区内4か所の公園で実施する。	<参加者数> ・5月実施分(区内4箇所の公園で開催) (子)62名(親)60名 ・10月実施分(山科中央公園で開催) (子)64名(親)58名	より対象者が、参加しやすいように、児童館など、身近な場所での実施を検討する。	支援課
	4 山科区フリースペースの設置・運営	地域福祉推進委員会の活動を通じて、平成27年度は2箇所の増設を目指す。	1箇所の増設を行い、8学区11箇所で実施した。	平成27年度に設置に至らなかった箇所の早期設置を行い、事業の周知や担い手の育成及び運営内容の充実を行う。	支援課
	5 健康づくりサポーター(キャット・ハンズ)とウォーキング	山科区民を対象としたウォーキングを年3回開催する。	年3回開催(定員150名) ・参加者数:138名	時期やコースを考慮して開催し、来年度も継続し実施していく。	健康づくり推進課
	6 介護保険事業の適正かつ円滑な実施	引き続き窓口等での丁寧な説明に努めるとともに、保険料の徴収率の向上と適正な要介護認定・保険給付に努める。	窓口や電話においては、制度、手続の丁寧な説明に努めるとともに、様々な取組による徴収率の向上(平成27年度98.06%(対前年度+0.07pt))と適正な要介護認定・保険給付に努めた。	引き続き、窓口等での丁寧な説明に努めるとともに、保険料徴収率の向上と適正な要介護認定・保険給付に努める。	福祉介護課
	7 福祉医療に係る事務の適正かつ円滑な実施	窓口等での丁寧な説明、適正な資格認定・給付事務に努める。	市民しんぶん区版への掲載やチラシ、ポスターによる制度の周知に努めるとともに適正な事務を実施	引き続き、窓口等での丁寧な説明と適正な資格認定・給付事務に努める。	福祉介護課
	8 地域福祉推進委員会活動の充実	会議等に積極的に参加する中で、区社協と協働し、地域福祉の向上を目指す。	本委員会(2回)、作業部会(4回)、事務局会議(適宜)、「山科区の地域福祉を考える集い」1回を開催	京(みやこ)・地域福祉推進指針2014に基づき、関係各会議に参加し、区社協との連携強化に努める。	支援課
	9 「京都市山科区要保護児童対策地域協議会」の適切な運営	「代表者会議」、「実務者会議」、「個別ケース検討会議」の実施により顔の見える関係作りを大切にし、児童虐待防止に努める。	代表者会議(1回)、実務者会議(4回)実施。個別ケース検討会議も頻りに開催され担当者が参加	関係機関との日常的な連携協力関係の維持・強化に努める。	支援課

平成27年度 山科区運営の総括表

4 保健・福祉・子育て支援を充実させる	10 地域包括支援センターの活動を支援	地域包括支援センターが主催する日常生活圏域レベルの「地域ケア会議」開催を支援し、山科区全体の地域ケア会議のあり方を見直す。	・日常生活圏域レベルの地域ケア会議に向けて「第2回あり方検討会」を開催し、「運営協議会」においても、理解・協力を得た。 ・年に2回実施する「運営協議会」においては、各包括地域課題の共有と検討を中心に行った。 ・「学区レベルの地域ケア会議」は各学区約2回～3回は開催している。 ・5包括センター長会議を2回開催し、運営協議会の持ち方を検討した。	・「運営協議会」では、各包括の共通課題が認知支援である事を確認出来たが、対策に向け積極的な包括の意見が出ないため、支援課誘導となりがちなところである。 ・「日常生活圏域レベルの地域ケア会議」開催への支援を実施する。	支援課
	11 東部障害者地域自立支援協議会活動の充実	支援会議や運営会議等に積極的に参加する。	毎月の「運営会議」「専門部会」に積極的に参加した。「児童専門部会」では、行政として唯一山科区支援課が部会に参画している。また、研修会等の企画や参加に積極的に取り組み、専門知識のレベルアップに取り組んだ。	東部圏域でのさらなるネットワークの構築に努めるとともに、問題の多様化や高齢化に対応できるよう、地域包括支援センターとの連携を図る必要がある。	支援課
	12 国民健康保険事業等の適正で円滑な運営	わかりやすく信頼される丁寧な窓口対応、保険料徴収率の向上、適正な資格賦課及び保険給付を実施	窓口や電話で制度、手続の丁寧な説明に努め、様々な取組により徴収率の向上(平成27:91.31%(対前年度+0.65pt))の向上と適正な資格賦課に努めた。	徴収率向上のため、さらなる制度周知を図る。	保険年金課
	13 訪問相談指導、乳幼児健康診査の実施、促進	乳幼児の健やかな育成等を図るため、乳幼児健康診査の受診率向上の取組や、訪問相談等を実施する。	・乳児健康診査(4箇月健診:47回実施・1,026人受診、8箇月健診:48回実施・1,024人受診、1歳6箇月健診36回実施・995人受診、3歳健診36回実施・966人受診) ・訪問相談実施数:1,065件	受診率向上に向けて、未受診者への対応を充実させる。	健康づくり推進課
	14 相談対応やパパ・ママ教室などの子育て支援の充実	パパ・ママ教室や親子の健康づくり講座の定期的な実施	・プレパパ・ママ教室(計18回開催) 参加者数:117名 ・親子の健康づくり講座(24回開催) 参加者数:878名 ・ベビーマッサージ教室(12回開催) 参加者数:48組	教室により勧奨の仕方も様々であるが、必要な人に利用してもらえるように取り組む。	健康づくり推進課
	15 こころのふれあいネットワークの実施	各種フォーラムの開催	・山科こころのふれあい夏まつり 参加者数:367名 ・こころの健康サポーター講座 参加者延べ数:39名 ・精神保健福祉シンポジウム 参加者延べ数:97名	内容を工夫し、参加者を増やすことで、精神障害者に対する正しい知識の普及、啓発を図る。また、地域住民との交流が図れるように取り組む。	健康づくり推進課
	16 感染症対策の充実	感染症のまん延防止の取組と中学生への性教育出前教室の実施	・平成IV・性感染症相談件数:18件 ・平成IV抗体検査件数:172件 ・肝炎ウイルス検査件数:217件 ・BCG予防接種件数:923件	検診等による早期発見につながるよう日々の機会を捉えていく。また、それぞれの普及啓発期間には、より工夫して検査の普及に努める。	健康づくり推進課
	17 たばこによる健康被害についての啓発や禁煙指導の推進	個別相談支援と防煙教室の実施	・NPO法人と連携し、中学校(大宅中、勤修中)での防煙教室を開催 ・第2・4金曜日に禁煙相談・禁煙支援の取組を実施(平成27年度相談件数:1件)	胸部検診、診断書発行、青年期検診等の機会を捉えて相談者が増加するよう、禁煙相談・禁煙支援の普及啓発に努める。	健康づくり推進課
18 がん検診の実施・利用促進	保健センターニュース、市民しんぶん山科区版等で、検診の周知に努める。	<平成27年度検診受診者数> 胃がん:626名、大腸がん:2,637名、乳がん:1,612名、肺がん:2,719名	受診率向上に向けて、受診機会の拡大と更なる広報の充実に努める。	健康づくり推進課	
5 地域のつながりを強める	1 災害に強いまちづくりの推進	関係機関や地域の自主防災会との連携を強化し、防災・減災対策を推進するとともに、土砂災害警戒区域等において住民の円滑な避難が図れるよう、ハザードマップを作成する。	土砂災害(特別)警戒区域の指定を受けた区内8学区(安未・陵ヶ岡・音羽・鏡山・大塚・百々・大宅・小野)ごとに土砂災害ハザードマップ作成し、平成28年3月に全戸配布を実施	今後も関係機関や地域の自主防災会との連携を密にし、防災・減災対策に関する意識向上を図る。	地域力推進室
	2 地域の防災力アッププロジェクト	地域との連携・協働により、避難所運営マニュアルの実効性を高めるための取組を行い、防災力の更なる向上を推進する。	避難所ごとに作成されたマニュアルをより実効性のあるものとするために、全学区の自治連合会会長、自主防災会会長等、地域の役員を対象に研修会を実施した。また、今後5年間で自主防災会等による避難所運営に係る訓練等、全ての避難所での実施に向けて取組を進めることとしており、当該取組を支援する観点で、各自主防災会に照会のうえ、避難所運営時に役立つ資機材を配備した。	各学区の自主防災会が迅速かつ円滑な避難所運営に取り組んでもらうために、必要な知識及び体験を得ることで、地域の役員への取組に向けた動機付けができた。今後も、引き続き、避難所運営に必要な資機材を配備するなど、地域の防災力の向上を図る。	地域力推進室
	3 世界一安心安全・おもてなしのまち京都市民ぐるみ推進運動	山科区協議会の設立、区版運動プログラムの策定	平成27年10月に協議会を立ち上げ、平成28年3月に区版運動プログラムを策定した。	平成28年度は、出発式の開催(7/3に実施済)、防犯プレート及び大型看板の作成・配布等を行う。	地域力推進室
	4 不良な生活環境を解消するための取組	関係機関や地域と連携して実態調査を進めるとともに、要支援者が抱える課題や悩みを聴取し、要支援者に寄り添った支援を行う。	実態調査を行い、要支援者に対して、継続的な支援を行っている。 <判定状況> ごみ屋敷と判定した件数:6件、ごみ屋敷でない判定した件数:14件、継続調査件数:7件	関係機関や地域と連携し、要支援者の課題に対し、適切な支援へつなげることでできた案件もあった。引き続き、関係機関と協議しながら対応を進める。	地域力推進室 支援課 保護課 健康づくり推進課 衛生課 (環境政策局) (保健福祉局) (消防局)
	5 生活安全条例に基づく施策の推進	学区の安心安全ネット継続応援事業の実施:全13学区	全13学区で事業を実施することができた。	パトロール物品の購入等に助成したことで、学区の防犯活動に寄与することができた。	地域力推進室 (文化市民局)
	6 獣害対策チームの運営	各学区の獣害対策チームと連携を図り、生活被害に遭われた方への獣害防除物品の貸出し継続、追い払い物品の提供、獣害防除勉強会を開催する。	継続的な防除活動のため「山科区獣害対策チーム連絡協議会」を設立(平成27年7月)、獣害防除物品貸出しの継続更新や檻及び銃器による捕獲等を行った。	イノシシ等の出没通報件数は減少傾向にあるが、平成28年3月にイノシシによる人的被害が発生。引き続き、チーム及び関係機関と連携を図り、生活被害の防止に取り組む必要がある。	地域力推進室 (文化市民局) (産業観光局)
	7 「第2期山科区基本計画」の推進	山科区民まちづくり会議の運営等による推進	山科区民まちづくり会議の運営等によって推進を図った。(平成27年8月、平成27年12月開催)	区民アンケート(平成28年10月実施)、客観指標の設置など、計画の進捗よく評価方法の改善を行い、計画のさらなる推進を図る。	地域力推進室

平成27年度 山科区運営の総括表

5 地域のつながりを強める	8	ふれあい“やましな”区民まつりの実施	より多くの団体や、多様な年齢層の方とともに、環境にやさしいイベントを実施する。	安心安全でエコなイベントを開催できた。 ・参加者数:約19,500名 ・出店ブース数:42ブース ・出演団体数:11団体	効率的、効果的な運営につとめ、区民の皆様に満足していただける内容のイベントを行っていく。	地域力推進室
	9	山科“きずな”支援事業	支援の充実を図るため、助成金の交付のほか、まちづくり講座、成果報告会の実施、事業報告書を作成する。	区内で活動する団体に、以下のとおり、支援を行った。 ・申請事業数:40件 ・補助金交付決定事業数:36件 ・交付確定額:6,080千円	平成27年度は、資金面のみならず、まちづくりサポート講座(6回開催)の開催や活動報告会を実施するなど、活動に役立つ取組を実施した。今後も、多様な方法で区民の自主的なまちづくり活動への支援の充実を図る。	地域力推進室
	10	やましなGOGOカフェの運営	まちづくりに関心のある区民同士が出会い交流を深め、行動のきっかけとなるような場を目指す。	計6回開催。第6回は、山科“きずな”支援事業活動報告会と合同で開催した。 ・参加数:242(延べ人数)	多くの参加者同士の交流を図ることができた。引き続き、区民が出会い、行動のきっかけとなる場として、開催していく。	地域力推進室
	11	区民サービスの向上	“きょうかん”ミーティングの実施、各種研修の充実	各所属において、“きょうかん”ミーティングの実施、各種研修の実施・参加	窓口職場、外勤職場においては、全員参加のミーティング・研修を実施することは困難であるが、グループごとに複数回実施するなどの工夫を行い、多くの職員が参加できるように努める。	全課共通
	12	適正な選挙事務の執行	投票事務の適正な執行体制の強化を図る。	投票事務の効率化を図り、適正に投票事務を執行できた。	今後も、適切な選挙事務の執行に努める。	地域力推進室
	13	国勢調査の実施	自治連合会や地元調査員の協力のもと適正に実施する。	地元自治会や地元調査員と協力を得て、適正に調査を実施できた。	適正な調査を実施することができた。	地域力推進室
	14	個人情報の保護を基本とした円滑な行政サービスの提供	個人情報の保護に万全を期すとともに、的確で迅速な事務処理、親切丁寧な対応に努める。課内会議、研修等により更なるサービス向上を図める。戸籍のコンピューター化へのスムーズな移行作業の実現に努める。	個人情報の保護に万全を期すとともに、的確で迅速な事務処理、親切丁寧な対応に努めた。課内会議、研修等により更なるサービス向上を図った。戸籍のコンピューター化へのスムーズな移行作業の実現に努めた。	今後も円滑なサービスの提供に努める。	市民窓口課
	15	食の安心・安全の確保と区民への的確な情報提供	食品表示監視を徹底するとともに、市民しんぶん区版及び区ホームページでの的確な情報提供を行う。	平成27年度京都市食品衛生監視指導計画に基づき、飲食店営業施設に対し延べ1,173回、販売及び製造施設に対し延べ710回、届出営業施設に対し延べ302回の監視指導を行った。また、年間を通じ31回、756人に対し、食品衛生講習会を実施した。	食品に係る苦情及び事故は年間を通じて散見されており、今後も継続して監視指導の強化及び衛生意識の普及に努める。	衛生課
16	動物愛護とペット飼育マナーの向上	啓発活動の実施	犬や猫を中心としたペットの飼育マナーや動物愛護について飼い主等へ指導、啓発を655件実施した。また、「京都市動物との共生に向けたマナー等に関する条例」の普及に向けた啓発活動を平成27年9月14日に陵ヶ岡緑の小径緑道にて陵ヶ岡学区自治連合会、陵ヶ岡保健協議会、陵ヶ岡学区市政協力委員と共催で実施した。	今後も苦情件数を減少させるため、さらなる啓発活動に努める。	衛生課	